



こくろうよなご

第14号

2025年3月25日

発行責任者 倉下文明

編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！

人の投資まだですよ

25春闘会社回答に思う

3月11日、JR西日本会社は25春闘の組合要求に対する回答を行いました。基準昇給の実施をはじめ、ベースアップについては○全社員に対して、職務遂行給に一律12200円の加算を行い、米子支社含めた3支社のエリア手当を一律3%への引き上げ等の反映も含めて、13684円相当のベースアップになるとしています。また、期末手当については、5・3箇月を年間の基準額とするとしています。

一方、シニア社員については、12200円のベア、契約社員についてはベア分を時給換算した額として時給75円の加算を行うとしています。しなしながら、シニア社員・契約社員とも、現職社員が増額となったエリア手当・期末手当（昨年は5・2箇月）の微増分についての補填等は無く、現職社員との格差を助長するものとなっています。

染みついた低額回答

ベアが12200円と聞くと、正直、驚く人も多くいたと思います。裏を返せばそれほど低額だったのかという事だと思えます。昨年新規採用者を獲得するために、C5・C4級の賃金を大幅に増加する一方で、基準昇給額表を改正して中堅層の賃金の伸びを抑制するなど年代によって大きく差がつく一体いくらの賃上げなのかわかりにくいものでしたが、全ての社員

に適応となるベアは4500円という物価高には到底追い付かない低額回答でした。そのイメージが頭にこびりついていたので、尚のこと驚いたのかもしれない。現状維持すら難しい。今回の12200円の回答について、会社は「JR発足後最高額」とのことですが、一方で今年1月の消費者物価指数は前年同月比で4%、賃上げ前の平均基本給が293340円でしたので、その4%は11733円となる

り、かろうじて消費者物価指数を上回るものと言えそうです。しかしながら、今後も物価高は落ち着く気配はなさそうで、25春闘での賃上げ分をプラスにしても、現状維持すら難しいのではなからず。これではなかなか、政労使が唱える「物価高を上回る賃上げによる経済の好循環」は生み出せそうにもありません。

「人への投資」、まだまだ、足りていませんよ！

見切り発車！ダメ！！

去る3月10日、浜田地区分会の春闘討論集会が開催されました。

あまりにお粗末！？

職場状況について、浜田運転区からは、「育休・病欠・怪我等の発生により、年休が出ないだけでなく呼び出している乗務も発生している」「見習いの為の指導操縦士3名中、2名がシニア社員、賃金が安いという都合よく使われている」「近年、気象状況の変化に

より1年を通して何らかの事象が発生し、列車の大幅な遅れが発生し、駅も夕方には殆どが無人となる。お客様に多大な迷惑と運転士の負担も増すばかりだ。何かあっても運転士はその場から逃れられない」「16日のダイヤ改正から益田駅での特急の車内清掃・連結器カバー取り付け作業が発生するが、説明の時点で掃除用品やごみの処理方法など何も具体的なものとは決まってお

ず見切り発車状態。連結器カバーの取り付けはDVDを見て終わりというお粗末なものしかない」など、多くの問題点が報告されました。

聞いてよ！社員の声

また、駅職場からは「ホーム上屋に住み着いているハトの駆除をして貰いたい」「6月からの統括駅長化に向けた具体的な説明がない」「メンテックの撤退に伴い、益田駅における清掃方についての説明と要員についても増やしてほしい」「若手社員の技術継承・人材育

働く者の負託・期待を背に！

3月12日、JR西日本本社前にて「25春闘勝利・安全・安心な鉄道と社会を作ろう！西日本本部総行動」が取り組まれ、米子地方本部からは、4名の組合員が参加してきました。

前日11日の回答を受けての総行動となりましたが、昨年を上回ったとはいえ、ま

ます勢いづく物価高を見たときに、とても受け入れられるような回答ではなく、怒りのシュプレヒコールを本社にぶつけてきました。

各地本の決意表明では倉下委員長から「働く者の負託・期待を考えるととても納得出来ない」として抗議の意を表明してきました。



JR西日本本社前にて総行動を展開

成の体制が取れていない」「特急列車の運用変更で急遽、メンテック社員による時間外での給油作業が発生、会社間の取り決めが守られていない」「駅の仕事も変化の速度が速くついていくのがやっと」「施策に社員の声が反映されていない。サービス向上・公共交通の役割など考えていない」などの声が出されました。

現場で共に働く仲間の不平・不満に耳を傾け、諦めることなく改善に向け粘り強く取り組んで行く事を確認してきました。